

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みらい		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 3日		～ 2026年 2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 3日		～ 2026年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースが広い。子どもたちがのびのびと体を動かすことができる。	体を動かす活動が出来るよう、バランスブロックやバランスボール、鉄棒などの道具を用意している。 また、ラジオ体操も毎回行っている。 学習スペースと区切れるようロールカーテンやパーティションを使い、場面の切り替えをしている。	ホールの広さをいかし必要に応じて、室内用の運動器具などを揃えていく。 ホールの中でも運動遊びをしても良い場所などエリア分けをするなどルールを明確にしていく。
2	制作活動や集団活動を通して、協調性やルール理解を育む支援を行っている。	子どもが季節を感じられるような制作活動を行い、ホール内に装飾している。 集団活動ではクッキングや他者と協力して行うゲームなどを提供している。	活動の中で順番待ちなどの視覚化を行い、社会性が身につくよう支援していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の活動に参加できていない。	本人支援に重点を置いており、「地域支援・地域連携」に対する情報が不足している状態である。 まだ取り組みもできていない。	安全面に考慮しながら地域との交流の場を増やしていく。
2	保護者会や保護者の研修の場を設けていない。	児童発達支援センターなどから保護者向けの研修の案内が届くがアピールができていない。	研修の案内を保護者面談などでアピールしていく。 児童発達支援センターなどの研修にも職員と一緒に受講できるようにしていく。
3			